

# 彦根市立彦根西保育園

日時：平成 23 年 9 月 5 日(月) 13:30~17:30  
平成 23 年 9 月 8 日(木) 9:00~16:00  
フィールド：琵琶湖岸

1 日目は講座、下見、プログラム作りを行います。2 日目は作成したプログラムを実践した後、ふりかえりを行いプログラムの完成度を高めます。

## 1 日目：「プログラムづくり」

彦根西保育園の前には琵琶湖があります。今回は琵琶湖岸の自然を生かしたプログラムを作ります。はじめに自然体験学習についての講義があり、幼児の自然体験の意義や目的、プログラム作成のポイントを学びます。続いて琵琶湖岸に出かけ、フィールドワークを行います。フィールドワークではプログラム作成に向けてのポイントなどのアドバイスを受け、実際に自然体験をしながら使えそうなものを探します。続いて、3 班に分かれグループごとにどのようなプログラムにするか考えます。ぜひ使いたい物、感じて欲しいことが決まれば、プログラムの構成を考えます。園に戻ってより良く自然を感じるための導入、プログラムの流れ、時間配分を決めてプログラムが完成です。



▲講義



▲湖岸には石ころ、草、打ち上げられたヨシなどがあります



▲草やヨシを使った遊び方、そこから学ぶこと等について解説



▲プログラムで伝えたいことを探します



▲プログラム作り

## 2 日目：「プログラムの実践」

2 日目はいよいよ作成したプログラムの実践です。3 班がそれぞれ作成したプログラムを実践します。

### 「葉っぱコンテスト」のプログラム

琵琶湖岸には様々な植物が生えています。本プログラムでは葉っぱの色、形、においに注目し、においの強い葉っぱを探したり、葉っぱを服につけておしゃれコンテストを行います。プログラムを通して、葉っぱには色々な色、形、感触、においがあることを感じる、そんな豊かな感受性を培うプログラムです。



この葉っぱはどんなにおいがするのか



葉っぱを服につけて…



こんなにオシャレになりました！



▲ふりかえり

葉っぱにはいろんな形、色、においがあるのが楽しいな。。。

### ポイントと次につながるヒント

- ・色々な形、色、においに気づけるように誘導しましょう
- ・葉っぱはよく揉むと、よりにおいが強くなります
- ・食べられる葉っぱを調べて、味覚でも感じてみましょう

## 「作ってみよう！石ころ動物園」 のプログラム

湖岸にはたくさんの石があります。大きな石・小さな石、丸い石・角い石、ツルツルの石・ザラザラの石、様々な色の石。それぞれ石を集めて、友だちに紹介しましょう。そして、お気に入りの石にクレパスで動物の顔を描き、みんなで動物園を作りましょう。石にもいろいろな形があること、いろいろな色があること、いろいろな感触があることに気づく、そんな豊かな感受性を培うプログラムです。

### ポイントと次につながるヒント

- ・ガラス等の危険なものに触らないようにしましょう
- ・石レストラン、石昆虫図鑑など動物園以外の石遊びもしてみましょう
- ・石ならべ、石積みなど絵を描く以外の石遊びもしてみましょう



▲琵琶湖に入って石探し

おもしろい形の石はあるかな？



何の絵を描こうかな～



◀石で囲いを作り、石に書いた魚を入れて水族館の完成！

## 「ヨシと仲ヨシ」のプログラム

湖岸には枯れたヨシがたくさん漂着しています。そんなヨシに触れ、見た目や手触り、重さ、堅さを感じましょう。そして、折って、刺して、想像力の赴くままに遊びます。プログラムを通して、ヨシは水質浄化をし、魚や鳥のすみかになっていること、ヨシをすだれとして利用していることなど、ヨシは琵琶湖の環境維持や私たちの生活と密着に関わっていることを知る、そんなプログラムです。



何作ろうかな～？

流木にヨシを刺してみたいざ、「ヨシ号」出航！



琵琶湖にヨシを刺してみた



▲導入とふりかえり

ヨシの役割や生活への利用についてお話しします

### ポイントと次につながるヒント

- ・水質浄化、魚や鳥の生息地となるなど、ヨシの役割を伝えましょう
- ・すだれなど、身近な生活にヨシが使われていることを伝えましょう
- ・すだれやよし笛作りの工作をしてみましょう

## 研修に参加した先生の声

- 子どもたちの思いを受け止めながら、自然と友だちになれるようにこれからも保育していきたい。
- これからも、1園でも多く、たくさんの子どもの自然と遊ぶ体験を増やせるように続けて欲しい。
- この研修に参加しなかったら知り得なかった知識・経験を獲得することができた。
- 琵琶湖（水辺）だからこそできる自然体験が子どもたちと一緒にでき、一緒に学べて良かった。
- 豊かな自然に恵まれていることのありがたさに気づけました。
- 「自然に触れて遊ぶ」という言葉の意味をあらためて教えていただいたような気がします。
- 自然にじっくり目を向け、自然との触れあいの大切さや面白さが体験できた。
- 自分自身が感動したり、楽しさを感じることで、子どもたちにも伝えていけると思う。